



社会福祉法人 愛徳福祉会

# 大阪発達総合療育センター

Osaka Developmental Rehabilitation Center

保険医療機関 南大阪小児リハビリテーション病院

# 葦

大阪発達総合療育センター機関紙  
第30号 2018年夏

## INDEX

・特集に寄せて	1P	・OJT研修の実施	4P
・特集 5本柱への思い	2P	・ボバース基礎講習会報告	5P
・やってきました!セラピードッグ	3P	・リレーエッセイ	5P
・ボッチャ通信発刊のお知らせ	3P	・イベントトピックス/職員研修実績状況	6P
・5月1日創立記念行事	4P	・寄付金と寄附物品	6P

## ■特集に寄せて

大阪発達総合療育センター センター長

鈴木 恒彦



今年の創立記念日には、創立の歴史と今後の展望を考える一環として楯山シスターと川端院長の有意義な講演をいただき、感動を新たにしました。新しいこととして小児科羽多野先生によるセラピードッグロイ君とモモ君の紹介と「ボッチャ通信発刊」があります。能力開発探偵団の今後の活躍を期待し、今年就職されたパラリンピック競技の強化指定選手の中村拓海氏の対外試合の活躍をお知らせします。さらに初めて行われた二つの研修会(OJT研修、ボバース概念に基づく脳卒中の評価と治療基礎講習会)が紹介されています。いずれも中身の濃い研修会であり、担当した職員の方々のご苦勞に感謝いたします。当センターのショートステイサービスは知られていますが、直接支援に携わる職員の切実な思いを松本師長と遠香主任が述べています。大変な心配りが感じられ、敬意を覚えます。医療相談室副主任の前田好亮さんによる第2回のリレーエッセイはとても楽しい内容でした。

## ■特集に寄せて

南大阪小児リハビリテーション病院 院長

川端 秀彦



本号の特集は「ショートステイ」です。開設して4年目となり、思い出深いできごとが4階ショートステイ病棟にもたくさん積み上がってきました。今回の特集ではスタッフのやりがいとよろこびが文章から垣間見られます。5つの柱をモットーにした活動の一面をどうぞ追体験しながら読んでみてください。

特集以外には、会ってみたいくなるようなセラピードッグのお話し、ボッチャの中村選手のことなど最新の情報が書かれていますし、リレーエッセイにも目が離せません。本号も、楽しい職場、働きがいのある仕事、そして各自のキャリアアップのための研修の充実が見てとれる内容だと思います。広報委員会のみなさまご苦勞様でした。



2018年9月よりセンターHPをリニューアルしました! URL : <http://osaka-drc.jp>

## 特集

# フェニックス4階ショートステイの仲間たち 「5本柱への思い」

フェニックス4階ショートステイ 師長 松本 久美 主任 遠香 桂子

4階病棟の一角に15床のショートステイ部門が開設して4年目となり、日々利用者様と一緒に賑やかに過ごしています。開設当初からスタッフが大切にしていること、目指していることがあります。

私たちは、**安全、安心、笑顔・楽しい、喜び、やさしさ・思いやり、ご家族と共に**の5本柱をモットーに利用者様とご家族への支援を考えています。そんな私たちの取り組みを、ご紹介いたします！

ショート部門の看護師は、利用者様のことが好きで、アイデアマンいやウーマンで。とにかくおもしろやさしいんです（これは師長の自慢です）。

ご家族のケアにはかなわないのは当然です。でも少しでもいいケア・関わりができるよう考え、こうしたらどうかなあ…とよく話し合いをしています。家の環境に近くかつ安全な居住空間の提供や、限られたスペースをどう活かすかなど、間接業務スタッフや営繕さん・他部門をも巻き込んで工夫を凝らしています。（いつも無理ばかり言ってすみません）

利用者様・ご家族の不安を軽減するためには安心・安全なサービスの提供が第一ですが、スキントラブルやケア方法の違いなどのインシデントが発生するケースがあるのは事実です。その際、医療安全部門とともに振り返り・分析をして、同じことが起こらないよう一つひとつのシステムを再考・整備し、医療安全に取り組んでいます。

また昨年度から、療育スタッフがショートでの活動にも取り組み始めています。トランポリンやハンモックなどの運動系、手形やボールを投げて描くアート系、たまには床でゴロゴロとリラクゼーション系…。限られた時間・スペースにも関わらず、そのアイデアの豊富さには驚かされます。写真付きの活動記録としてご

## ショート病棟 5本の柱



家族にもお渡ししています。

「こんな表情するんや」「これはがんばってる顔やわ」「苦手やけど笑ってる」などご家族の笑顔にも触れるとが増えました。また我々看護師にとっても利用者様の見たことのない一面を垣間見ることができたり、小さい頃のお話を聞かせてもらったりと、「ショートステイを少しでも楽しんでもらおう」という目的に加え、これまでとは違った情報を得ることができるようになりました。

初めてのご利用は、利用者様・ご家族にとって不安は大きいと思います。眠れなかったり、緊張で呼吸が苦しくなったり。体調をくずして早くお迎えに来ていただくこともあります。

でも私たちは利用者様の不快や不安をひとつずつ「快」に変え、そして「家がいちばんいい。でも、フェニックスになら泊まりに行ってもいいかなあ」と思ってもらえる場所にすることを目指しています。

ショートステイを終えたあと、利用者様の様子を見て気づいたことがあれば教えてください。要望やご意見をお待ちしています。アンケートに書いていただかないと、お聞きしないと気付けないこともあります。我慢するのはご家族でも私たちスタッフでもなく利用者様です。

利用者様の年齢層や疾患、ニーズも多様化するなかで変化していることもあります。この4年で作り上げてきたことを見直し、5本柱を守りつつ発展させる時期に差しかかっています。5本柱のひとつである**ご家族と共に**、在宅支援の一助となるサービスが提供できるよう努めていきたいと思っています。



# やってきました! セラピードッグ ロイ君とモモ君

医務部小児科 医師 羽多野 わか

皆さんご存知でしたか? 秘かに当センターには、能力開発探偵団なるものが存在し、地味に活動していたことを! 船戸先生より任命をうけ、団員一号として活動しています、羽多野です。モンテッソーリ理念の導入に引き続き、動物ならではの力で入所者の笑顔や秘めた力を引き出すべく、5月16日、セラピードッグのロイ君とモモ君、ドッグセラピストの榎田珠実さんに来ていただきました。

センター初の試みに、入所者様やご家族だけでなく、私達スタッフもワクワクドキドキしながらその日を待っていました。病棟に姿が見えると、皆の歓声と共にとても素敵な笑顔がありました。不思議そうにフワフワ、モコモコの毛を撫でていく内に、にんまり笑顔が出てくる方もいれば、やっぱり怖くて表情がこわばる方もおられました。ポーカフェイスの入所者様が笑って下さった時には、見ている私達もとても幸せになりました。スタッフの表情もとてもよかったです。

センターの中に有機的な生命あるもの、が入ってくるだけでこんなにも空気かわるのか、と気づかされました。これを機に、定期的に訪問して下さることになりました。皆さんどうぞお楽しみに!!



## ボッチャ通信発刊のお知らせ

運営局 局長 梶浦 正

今年の4月より運営局に中村拓海さんが配属されました。彼は法人の職員であると同時に日本ボッチャ協会の強化

指定選手として2020年東京パラリンピックでの活躍を目指しています。

そこで法人としては、彼の東京パラリンピックでの活躍までの道程を「ボッチャ通信～2020年東京パラリンピックを目指して～」を発刊し、皆さんにお伝え出来ればと思います。

尚、発刊は次回「葦」と同時発刊を予定しています。以下は中村さんからのメッセージです。

「こんにちは中村拓海です。

このたびボッチャ通信～2020年東京パラリンピックを目指して～を発刊させて頂く事になりました。ボッチャ通信を通して皆さんにボッチャの魅力や面白さが少しでもお伝え出来ればと思います。内容は各種イベントの案内や報告・大会活動の報告を掲載予定しています。皆さん楽しみにしていて下さい。」



# 5月1日 記念行事 創立記念日

5月1日は法人の創立記念日にあたります。今年  
は第48回目の創立記念日となります。

昨年度までは、災害訓練を行っていましたが、  
今年より、記念行事を5階ホールにて執り行う事と  
なり、職員及び地域の方にも広く呼びかけ参加を  
募りました。

記念行事は二部構成とし、第一部は、午前10：00  
～12：00までに記念講演を開催し、第二部は午後か

ら懇親会というプログラムにて開催しました。

記念講演の内容は、愛徳姉妹会榎山シスターによ  
る「聖心セツルメント聖母病院から聖母整肢園へ」  
と川端院長による「骨延長にできること～外科医  
の役割～」でそれぞれ講演頂き、大変貴重なお話  
を聞かせて頂きました。

午後からの懇親会では、軽食とともに園の歌を  
流したりと和やかな時間となりました。



## OJT (On the Job Training) 研修の実施

運営局 局長 梶浦 正

今年4月に入職した13名のリハビリテーション部  
の新入職員を対象に3か月のOJT研修を実施しまし  
た（分園配属職員は1.5ヶ月）。OJTとは、職場の  
先輩職員がOJTリーダーとなってマンツーマンで職  
場において業務指導を行うというものです。今回は  
1.5ヶ月を病棟にてケアスタッフのOJTリーダー  
の下で学び、1.5ヶ月をリハ部の先輩職員のOJT  
リーダーの下で学んでもらいました。

病棟での研修では、勤務体系上、一人のOJTリー  
ダーが見る事は出来ないため、複数の先輩職員で  
新入職員の指導にあたりました。この研修の狙い

は、①新入職員に病棟の全体の流れを理解してもら  
う、②病棟のスタッフ、利用者の方々の事を覚え  
ると同時に自分の事も知ってもらう、③多職種  
協働実践に向けての他職種理解、の3点でした。当  
初は色々戸惑いもあったようですが、1週間程度  
経過すると、仕事を理解し早くも一職員として戦  
力となった新入職員が多かったようです。従って  
病棟からの評価は概ね高く、当初の狙いは達成さ  
れたと思います。来年度はより職場からの意見  
を取り入れて更に進化して実施する予定です。

2018年度

## ボバース概念に基づく脳卒中後遺症者の評価と治療 基礎講習会 報告

リハビリテーション部 エキスパート理学療法士 日浦 伸祐

2018年7月2日（月）～7月13日（金）に当センターで第1回目となる標記講習会の前半の2週間が終了いたしました。当該講習会は、脳卒中後遺症者に対しての評価と治療の為の課題解決能力を高め、セラピスト向け講習会で参加者14名、講師は紀伊顧問、日浦、木野本の3名で行いました。鈴木センター長にも専任講師として協力いただきました。

今回、小児・成人の両方に携わる機会をセンター内で提供できたことは、小児領域の発展にも寄与できる礎となるものと考えています。

成人領域で展開されている「評価と治療」の神経生理学、運動学制御理論等を背景とした臨床推論過程と、繊細な治療刺激と効果の積み重ねによる機能的変化の提供できる基盤を、職員教育の中



でも展開していけると考えています。

梶浦理事長、鈴木センター長とから引き継がれていますボバース夫妻のコンセプトを実践し、発展させる一環としての今回の講習会の開催でした。また、講習会運営に多くの方々が、協力頂いたこともセンターの使命を伝えることをできた機会であったと考えます。



地域医療連携部 医療相談室 MSW 副主任

前田 好亮

リレーエッセイ2番バッターを務めさせていただきます。医療相談室の前田好亮と申します。

「夏といえば」みなさんは何を思い浮かべますか？私は、高校野球です。

小学生から野球を始め、中学生から高校卒業までの6年間、親元を離れ、頭を丸め、球友と何をするにも常に一緒という、寮生活をして野球をしていました。いわゆる野球しか知らない、野球漬けの好青年？でした。今思うと懐かしく楽しかったです。当時は…ご想像にお任せします(笑)

紆余曲折あり、小学生から憧れていた甲子園で野球がしたいとの夢が、軟式野球で全国制覇という夢に変わり、高校生でも軟式野球を続ける決断をしました。

全国大会は、甲子園が閉会したあと8月末から明

石公園(明石城跡)の球場で行われています。全国高等学校軟式野球選手権大会<通称「もう一つの甲子園」>に出場し、高校2年生の時に全国制覇を成し遂げました。大阪勢で初優勝。学校としても初優勝でした。そんな野球好きは、今でも草野球を続けています。野球で学んだチームプレー<多職種連携>は今でも公私にわたり実践中です。

日々ご苦労されているお話や、困っている事、どんないしょ！？という事、野球の事など、ございましたら、どんなことでも構いませんので、医療相談室にお気軽にお立ち寄りください。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

明石公園に遊びに行く機会がありましたら、優勝校植樹があるので、いちようの木を探してみてください。学校名も掲載されています。

# 職員研修実施状況

H30年4月～H30年6月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

実施日時	企画部署	研修名	講師	参加人数	場所
平成30年4月2日(月)～4日(水) 9:00～17:30	教育研修部	平成30年度新入職員研修 (兼 平成29年度中途採用者研修)	鈴木恒彦センター長他	33名 随時参加あり	5階ホール
平成30年4月18日(水) 17:40～18:40	教育研修部	「小児救急初期診療 声なき声に気づくコツ」	国立国際医療研究センター 国際医療協力局 井上信明氏	83名	5階ホール
平成30年4月21日(土) 9:00～18:00	運営局・ 教育研修部	「中堅職員研修」	株式会社インソース 大坪浩民氏	23名	5階ホール
平成30年5月14日(月) 17:40～18:40	教育研修部	倫理研修 「人生の最終段階におけるガイドライン」	武蔵野大学法学部法律学科特任教授 樋口範雄先生講演会DVD放映	88名	5階ホール
平成30年5月26日(土) 9:00～17:00	運営局・ 教育研修部	「若手・中堅パワーアップ研修」	株式会社インソース 植山哲文氏	31名	5階ホール
平成30年5月28日(月) 17:40～19:00	教育研修部	人権研修 「重症児者診療における倫理的課題」	西宮すなご医療福祉センター 研修室長 山下順子氏	100名	5階ホール
平成30年6月4日(月) 17:40～18:30	感染管理委員会 教育研修部	感染管理対策研修「標準予防策」	大阪府済生会泉尾病院 感染管理認定看護師 田中ちよ氏	161名	5階ホール
平成30年6月9日(土) 9:00～17:00	運営局・ 教育研修部	「若手・中堅パワーアップ研修」	株式会社インソース 川島睦美氏	28名	5階ホール
平成30年6月15日(金) 17:40～18:40	運営局	「事業説明会」	梶浦正運営局長	85名	5階ホール
平成30年6月16日(土) 9:00～18:00	運営局・ 教育研修部	「中堅職員研修」	株式会社インソース 大坪浩民氏	24名	5階ホール
平成30年6月27日(水) 17:40～18:40	運営局	「ポッチャ競技活動報告」	運営局 中村拓海 梶浦正運営局長	53名	5階ホール

## イベントトピックス



### 「第3回ぴかぴか・ぷちとまとの会」開催

平成30年4月28日(土)に、「第3回ぴかぴか・ぷちとまとの会」が、当センター5階ホールにて開催され、多くの利用者様家族様に参加頂きました。



## 感謝

大阪発達総合療育センターへの御理解・御協力誠にありがとうございます

### 一般寄付金

月	寄付者(敬称略)	
4月分	井上 明生	本園
	4月分楽基金 22件	
5月分	5月分楽基金 6件	
6月分	6月分楽基金 6件	

### 寄付物品

月	寄付者(敬称略)	物品名
	(本園)	
4月分	匿名	経腸栄養セット 多数
5月分	鈴木 蒼	座位保持いす
6月分	国際ソロプチミスト大阪-中央	DVDプレーヤー 5台
	デオリベラ アンド レア (株)ユー・エス・ジェイ	服 多数 車両(ステップワゴン)
	(分園)	
4月分	大阪玩具人形問屋協同組合連合会	玩具 多数
6月分	田中 裕子	おもちゃ(ピアノ)



## 大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関)  
フェニックス(医療型障がい児入所施設・療養介護事業・短期入所事業)  
主として重症心身障がい児者  
わかば(医療型障がい児入所施設・短期入所事業)主として肢体不自由児  
ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)主として肢体不自由児  
いぶき(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)  
なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業)

〒546-0035 東住吉区山坂5-11-21  
TEL:06-6699-8731 FAX:06-6699-8134

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会  
発行責任者・梶浦一郎

訪問看護ステーション めぐみ(指定訪問看護事業)  
TEL:06-6699-8855 FAX:06-6699-8856  
ヘルパーステーション めぐみ(指定訪問看護事業)  
TEL:06-7506-9223 FAX:06-6699-8856  
〒546-0035 東住吉区山坂5-9-16

大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関)  
あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として肢体不自由児  
ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として難聴児

〒552-0004 港区夕風2-5-3  
TEL:06-6574-2521 FAX:06-6574-2524